

別紙様式第 10 号 (甲用)

博士學位論文審査及び最終審査結果報告書

年 月 日

総合工学系研究科長 殿

學位論文審査委員会委員長

學位論文審査及び最終試験の結果を下記のとおり報告します。

記

1. 課程申請者

専攻・部門 (講座)

専攻

部門 (講座)

学籍番号

氏 名

2. 審査年月日 論文審査 年 月 日～ 年 月 日

最終試験 年 月 日

3. 學位論文審査及び最終試験の結果 (「合格」・「不合格」で記入すること。)

(1) 學位論文審査 「 」

(2) 最終試験 「 」

4. 博士の学位に付記する専攻分野の名称

学 術 ・ 理 学 ・ 工 学 ・ 農 学

(該当する専攻分野に○を付すこと。)

5. 論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。審査により題目を変更した場合は変更後の題目を記載すること。)

6. 學位論文の審査結果の要旨 (A4 版 1,500 字程度。但し、1,500 字を超えても構わないこととする。)

別紙 1 のとおり

7. 最終試験の結果の要旨 (A4 版 1,500 字程度。但し、1,500 字を超えても構わないこととする。)

別紙 2 のとおり

學位論文審査委員

区 分	氏 名
委員長	
委 員	
委 員	
委 員	
委 員	
外部委員	(所属機関・部局・職名:)

別紙 1 (甲用)

(学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧)

氏 名	
論文題目 (申請時) 外国語の場合 は,その和訳を 併記する。	
審査結果の要旨 (1,500 字程度。但し, 1,500 字を超えても構わないこととする。)	

(注 1) 論文題目に変更がある場合は, 変更後の論文題目とその理由も明記する。

(注 2) 早期修了の場合は, 条件等を満たした旨を記載する。

※作成時に不要であれば(注)を削除する。

別紙1 (甲用)

(学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧)

審査対象論文一覧
論文発表(1) (レフェリー制のある学術雑誌)
論文発表(2) (レフェリー制のある国際会議議事録)

(注) 発表論文目録の論文発表(1)及び(2)を掲載する。

(注) 雑誌名の記載法は国際的な規則 (Web of Science の表記) に従う。

(注) 連名者の記載法はカンマで区切り, and は使用しない。著者名は論文記載のまま表記する。英語論文は姓名とも頭文字のみ大文字とする。 例) Taro Nagano, Ichiro Wakasato

※作成時に不要であれば(注)を削除する。

博士学位論文審査及び最終審査結果報告書

年 月 日

総合工学系研究科長 殿

学位論文審査委員会委員長

学位論文審査及び最終試験の結果を下記のとおり報告します。
記

1. 論文申請者

氏 名

2. 審査年月日 論文審査 年 月 日～ 年 月 日
最終試験 年 月 日

3. 学位論文審査及び最終試験の結果 (「合格」・「不合格」で記入すること。)

(1) 学位論文審査 「 」

(2) 最終試験 「 」

4. 博士の学位に付記する専攻分野の名称

学 術 ・ 理 学 ・ 工 学 ・ 農 学

(該当する専攻分野に○を付すこと。)

5. 論文題目 (外国語の場合は、その和訳を併記すること。審査により題目を変更した場合は変更後の題目を記載すること。)

6. 学位論文の審査結果の要旨 (A4 版 1,500 字程度。但し、1,500 字を超えても構わないこととする。)

別紙 1 のとおり

7. 最終試験の結果の要旨 (A4 版 1,500 字程度。但し、1,500 字を超えても構わないこととする。)

別紙 2 のとおり

学位論文審査委員

区 分	氏 名
委員長	
委 員	
委 員	
委 員	
委 員	
外部委員	(所属機関・部局・職名：)

別紙 1 (乙用)

(学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧)

氏 名	
論文題目 (申請時) 外国語の場合 は, その和訳を 併記する。	
審査結果の要旨 (1,500 字程度。但し, 1,500 字を超えても構わないこととする。)	
<p>(注) 論文題目に変更がある場合は, 変更後の論文題目とその理由も明記する。 ※作成時に不要であれば(注)を削除する。</p>	

別紙1 (乙用)

(学位論文の審査結果の要旨・審査対象論文一覧)

審査対象論文一覧
論文発表(1) (レフェリー制のある学術雑誌)
論文発表(2) (レフェリー制のある国際会議議事録)

(注) 発表論文目録の論文発表(1)及び(2)を掲載する。

(注) 雑誌名の記載法は国際的な規則 (Web of Science の表記) に従う。

(注) 連名者の記載法はカンマで区切り, and は使用しない。著者名は論文記載のまま表記する。英語論文は姓名とも頭文字のみ大文字とする。 例) Taro Nagano,

Ichiro Wakasato

※作成時に不要であれば(注)を削除する。

